

「身近なところで使えるプログラムマネジメント」の事例

～ 子供の結婚とP2M ～

第15回 新P2Mクラブ

2019年9月20日(金)

薄井 昭人 (PMR, Advanced PMR Club会員)

➤ PMAJにおける会員活動

- PMAJは、会員が構成する組織であり、社会のためにPMを普及・向上させるという大きな目標に向かって活動をしています。
- その活動の中心となるのが会員であり、その束ねた力が原動力となって発展の輪が広がっています。
- 会員個々人も、自分の発展や興味を踏まえて参加したい活動や仲間を見つけて、自由に参加ができるのが会員活動の魅力です。
- そしてその中でPMの技術習得や経験をして、更に発展していく場とすることが出来ます。

PMAJホームページ／会員活動について より抜粋

今回お集まりいただいた「**新P2Mクラブ**」も
本日ご紹介する「**Advanced PMR Club (APC)**」も
PMAJにおける会員活動の一つです。

➤ Advanced PMR Club (APC) 発足の経緯

- PMR (Program Manager Registered) 有資格者のコミュニティとして、2012年に「[PMRクラブ](#)」が発足。
- 「PMRクラブ」は、PMR有資格者に限らず、PMR資格取得を目指す人も参加可能として活動。
- 2017年には、PMAJ会員のコミュニティとしてオープン参加機能を有する「[P2Mクラブ](#)」(現「[新P2Mクラブ](#)」)が発足。
- PMR有資格者に限定したコミュニティを新たに発足させようという有志が集まり検討を重ね、2018年に「[Advanced PMR Club](#)」が発足

➤ Advanced PMR Club (APC) の目的

- PMR資格を保有する会員が、PMRの認知向上活動およびPMRによる価値創造活動を通じて相互啓発し、プログラムマネジメントの普及促進を図ることを目的としています。

➤ Advanced PMR Club (APC) の活動

- 上記の目的を実現するため、「認知向上分科会」「価値創造分科会」の二つの分科会を、それぞれを1回／月のペースで開催しています。
- また、1回／2ヶ月のペースで全体会合を開催することで、会員全員による分科会の進捗等の共有と、進め方の確認などを行います。
- 現在15名のPMR資格取得者が会員として参加し、活動しています。

➤ PMシンポジウム2019での発表

- APCでは、PMシンポジウム2019のP2Mトラック【PA-3】において、

**PMRが語る プログラムマネジメントの使い道
～オンでもオフでも、これさえあれば鬼に金棒～**

を発表しました。
また、小冊子として

プログラムマネジメント実践事例集 (エッセンス版)

を編纂し、PMシンポジウム2019参加者へ配付しました。

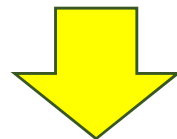
➤ PMから見たプログラムマネジメントに対する認識

- 事例を読んでも、それがプログラムマネジメントにどう関係しているかわからない。
- プロジェクトマネジメントで奮闘している人が、プログラムマネジメントを学ぶと、「これは経営者層や上級管理者の仕事」と思う。

出典：『P2Mプログラム実践研修（2019年5月10日～11日） 第0部』抜粋

➤ プログラムマネジメントの課題

- P2M標準ガイドブック等のテキストが一般論なので、実務に適用するイメージが湧きにくい。
- 宇宙開発等の実践事例が紹介されているが、大規模過ぎて自分の参考にはならない。



PMRが、オンとオフで実践している事例を紹介し、PMRの認知向上ならびにプログラムマネジメントの普及促進を図る！

APCが考えるプログラムの類型と事例

: 追加した分類・類型
赤字 : 発表事例、小冊子掲載事例
青字 : 小冊子掲載事例

分類	類型	P2M標準ガイドブックに記載のある具体事例	APCが紹介する具体事例
戦略型	組織改革	M&A、事業構造改革、リストラクチャリング、組織再編など	中小規模の全員参加型業務改革、JAL再生
	経営戦略		建設会社の中期経営計画策定、JR九州
	事業戦略		事業戦略実行ストーリー
	商品開発	大型の新製品やサービス、新規素材、医薬品など	建設会社の商品企画
	新ビジネスモデル	新規市場（顧客）開拓、新規バリューチェーン構築など	くまモン 、限界集落の活性化
	研究開発	宇宙開発、地球環境関連（大気汚染や水質、防災など）	
	創作活動	映画製作、テレビドラマなど	
	社会インフラ	スマートシティ	
オペレーション型	建設関連	プラント、発電所、鉄道、空港、市街地再開発など	オペレーション型のプログラムとプロジェクトの違いは規模の大小だけではなく、取り組む範囲の違いがある
	資源関連	資源探査、油田、鉱山などの開発や運用など	
	IT関連	人事や経理などの基幹系システム、生産管理、銀行勘定系システムなど	
	人材育成		次期マネジャー育成
	生活		介護
イベント型	団体活動	今回（第15回P2Mクラブ） の話題提供	学生開催イベント
	家族		子供の結婚 、家族旅行

プログラム事例紹介シート

プログラム名称		子供の結婚
分類		<input type="checkbox"/> 戦略型 <input type="checkbox"/> オペレーション型 <input checked="" type="checkbox"/> イベント型
類型		生活
創造した価値		<input type="checkbox"/> 資産価値 <input type="checkbox"/> イノベーション価値 <input checked="" type="checkbox"/> 調和価値 <input type="checkbox"/> 知的資産価値 <input type="checkbox"/> その他の価値
ステークホルダーのニーズ		新郎新婦の幸せな新生活のスタート
ミッション		新郎新婦と両家家族それぞれの思いを満たす結婚式を執り行い、二人の新たな門出を参列者と共に祝う
制約要因	外部	結婚式の形式、場所、規模、費用
	内部	新郎新婦と両家家族それぞれの思い
プログラムマネジャー		親（私）→子（新郎新婦）
期間		2017年9月～2018年11月
プログラム構成人数		新郎新婦および両家家族（数名）
プログラムの概要 （プロジェクト群の説明）	スキーム	ミッション表現 「何のため」「誰のため」の結婚なのかを掘り下げて再確認する。 関係性分析 新郎新婦と両家家族それぞれの思いを共有する。 シナリオ展開 結納から結婚式、新婚旅行、新居での生活までの構想を練る。
	システム	結納式、結婚式、新婚旅行をそれぞれ計画し、実行する。
	サービス	新居での生活をスタートさせる。

➤私

- 昭和40年生まれ54歳。既婚。子2人（息子25歳、娘17歳）
- 電気機器メーカー勤続28年
- 2014年にPMR資格取得

➤仕事

- システムエンジニアリング～プロジェクトマネジメントに従事
- PMO部門にてプロジェクトマネージャの支援

P2Mの実践

➤プライベート

- 息子の就職、結婚
- 娘の進学
- 親の介護
- 家のリフォーム

仕事以外でも P2M を活用できないか？

➤子供の結婚について

■世間の慣習

- ✓両家の顔合わせ→結納→婚約→式場決め→結婚式→新婚旅行
- ✓結婚式場で挙式・披露宴？親族や上司・同僚、友人の招待？
- ✓教会で親族だけの結婚式？後日お披露目会？
- ✓海外で二人だけの結婚式？親兄弟は同行？

■取り巻く環境

- ✓新郎と新婦は、同じ大学の同級生：共通の知人が多い
- ✓新郎も新婦も、就職して二年目：結婚資金はあまりない
- ✓新郎も新婦も、両親は健在で現役：親からの援助？
- ✓新郎は就職後、転勤で地方へ：遠距離恋愛

ちょっと待った！



P2Mを適用する

「何のため」「誰のため」の結婚なのか？

1. スキームモデル

1. スキームモデル (ミッションプロファイリング)		
(1) ミッション表現	(2) 関係性分析	(3) シナリオ展開
① ミッションの記述 ② 価値の記述	① 全体価値と部分価値 ② ステークホルダーの価値	① シナリオ案作成 ② 実現性検証 ③ 実行シナリオ選定

(1) ミッション表現

■「何のため」の結婚なのか？

- ✓新郎と新婦が、将来を誓い合う
- ✓新郎と新婦が、親族や上司・同僚、友人に結婚を公式に披露する

■「誰のため」の結婚なのか？

- ✓もちろん！第一は、新郎と新婦のため
- ✓しかし、“新郎と新婦のため”だけではない？新郎新婦両家のため？

1. スキームモデル

1. スキームモデル (ミッションプロファイリング)		
(1) ミッション表現	(2) 関係性分析	(3) シナリオ展開
① ミッションの記述 ② 価値の記述	① 全体価値と部分価値 ② ステークホルダーの価値	① シナリオ案作成 ② 実現性検証 ③ 実行シナリオ選定

(2) 関係性分析

■ステークホルダーそれぞれの思い

- ✓新郎：参列者に「新婦を幸せなお婆ちゃんする！」と宣言したい
- ✓新婦：女子高時代の友人を招待して、楽しい披露宴にしたい
- ✓新郎両親：親族へお披露目し、みんなで二人の門出を祝いたい
- ✓新婦両親：嫁いでいく娘にできる限りのことをしてあげたい

1. スキームモデル

1. スキームモデル (ミッションプロファイリング)		
(1) ミッション表現	(2) 関係性分析	(3) シナリオ展開
① ミッションの記述 ② 価値の記述	① 全体価値と部分価値 ② ステークホルダーの価値	① シナリオ案作成 ② 実現性検証 ③ 実行シナリオ選定

(3) シナリオ展開

■結納まで

- ✓ 両家の顔合わせの場でそれぞれの思いを共有する
- ✓ 結納をどのような形で行うか両家で相談する(正式結納、略式結納)

■結婚式まで

- ✓ 結婚式のスタイル、式場、規模、招待客などは新郎と新婦に任せる
- ✓ 両家で打合せを持ち、それぞれの思いを共有する

■新婚旅行

- ✓ 新郎と新婦の仕事の都合などから、新婚旅行をどうするか検討する

■新居その他

- ✓ 新郎（地方）と新婦（東京）は遠距離恋愛であったため、結婚後の仕事や新居のことを新郎と新婦が中心となり検討する

2. システムモデル

(1) 結納式

- ✓ 両家の顔合わせの場で、結納は「略式結納」とすることで合意
 - ✓ 都内のイタリアンレストランにて平服で執り行う
 - ✓ 「略式結納」とするが、それぞれ結納の品を取り交わす
- **両家でそれぞれの思いを共有して結婚式を進めることとした**

2. システムモデル

(2) 結婚式

- ✓ 式場探しから予約、式場との打合せ、準備は全て新郎新婦で進める
- ✓ 両家で打合せを持ち、両家（両親）のそれぞれの思いを共有した上で両親からの費用援助などを相談する
- ✓ 当日をイメージするため、両家の両親もそれぞれ式場へ下見に行く
 - **新郎は、参列者の前で「新婦を幸せなお婆ちゃんする！」と宣言**
 - **新婦は、友人を招待し、デザートバイキングなどでもてなす**
 - **新郎両親と新婦両親は、それぞれ費用援助も行い、親族へお披露目して、親としてできる限りのことをしてあげられた**

2. システムモデル

(3) 新婚旅行

- ✓ 新郎と新婦の仕事の都合や費用都合から、新婚旅行はあらためて計画することとする

3. サービスモデル

(1) 新居への引っ越し

- ✓ 結婚に備え、新郎は現在の住居が手狭なため、広い住居に引っ越す
- ✓ 結婚式後に新婦が新郎の新居へ引っ越す
- ✓ 新婦は引っ越し後にあらためて仕事を探し、新婚生活をスタートさせる

➤まとめ

結果的には、結納～結婚式～新婚旅行と今までの慣例的なやり方を踏襲した形とはなったが、

- 「何のため」「誰のため」を共有し、
- ステークホルダーの思いを分析して、
- ステークホルダーのベクトルを合わせたことにより、それぞれの思いを共有し納得感（価値）を高めることができた。

プログラムマネジメントの考え方を、仕事ではなく、プライベートにおける子供の結婚に活用し、

- ✓ 結婚の準備に **スキームモデル**
- ✓ 結婚式や新婚旅行に **システムモデル**
- ✓ 結婚後の新生活に **サービスモデル**

をそれぞれ適用して、子供を支援し、親としての大きな役割を果たした

